

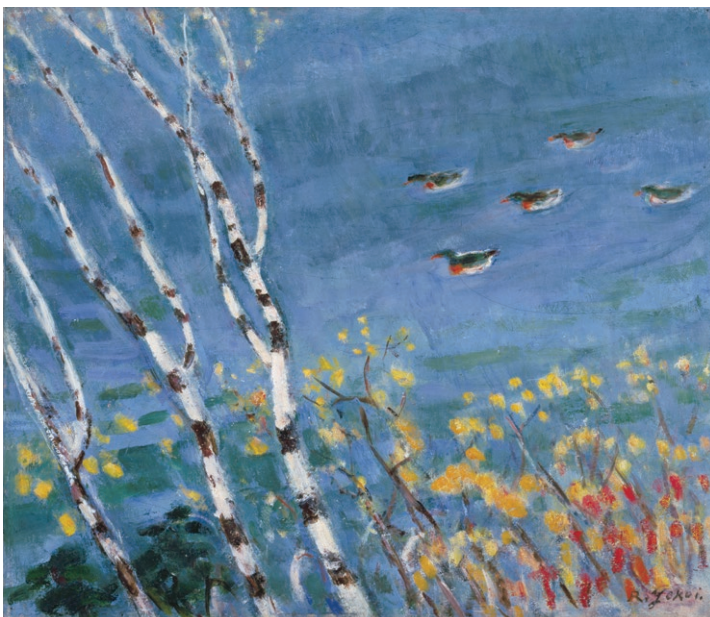
木村定三コレクション横井礼以作品目録より



No.19 《三つ面》 KT11



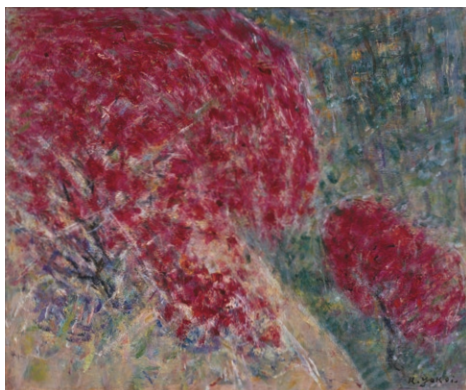
No.2 《茄子之園》 M2061



No. 5 《鴨のうかぶ湖（琵琶湖）》 M2659



No.22 《鶉》 M2647



No. 9 《山つつち》 M2645



No.16 《菊》 M2656



No. 4 《落霜紅》 M2644



No.20 《梅日和》 M2654



No.21 《室生寺の塔》 M2660



No.6 《石楠花》 M2658



No.17 《真鶴》 M2643



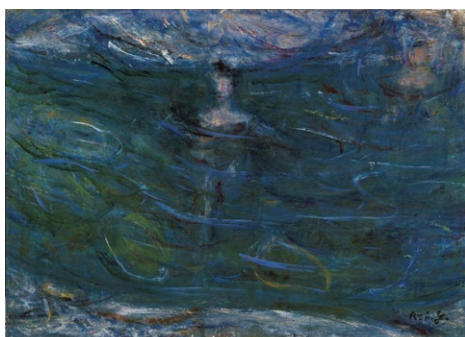
No.10 《水にうつる大山》 M2646



No.11 《城ノ崎温泉 雨後》 M2648



No.15 《かもめの飛ぶ東郷湖》 M2657



No.18 《水浴》 M2653



No.12 《山陰山村》 M2649



No.3 《パンジー》 M2655



No.14 《綿羊》 M2652



No.8 《洋蘭》 M2651



No.13 《龍膽》 M2650

6. 石楠花

Rhododendron

1941年頃

油彩、画布 額装

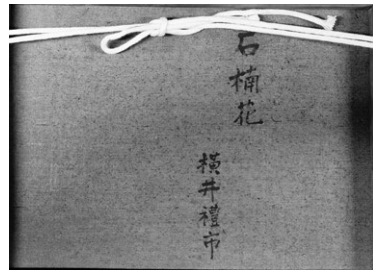
32.0×40.8

M2658

R. Yokoi

1974 米寿記念横井礼以自選展（大阪フォルム画廊、東京／名古屋）

6号。これまで当館では制作年不詳としてきたが、木村宛の書簡（書簡〇〇四〇）に画料を受け取った旨の記載があることから、1941年頃とする。正面から見た花卉を2つ大きく配し、横から見たものを2つ控えめに添える構成が巧み。額に「白の裸」という文字があり、中身を入れ替えた形跡が見られる。



7. すっぽん

Snapping Turtle

1942年

油彩、画布 額装

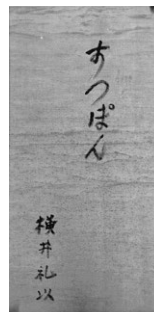
53.2×65.2

JO195800002000

R. Yokoi

1942 第29回二科展

15号。これまで当館では1958年頃としてきたが、1942年の第29回二科展出品作なので1942年に改める。「私の郷里はこの間伊勢湾台風で大被害を蒙った海部郡弥富町でデルタ地帯です。こうした水郷に生まれた私は水につながる動物を自ら描こうとするようになります。スッポンをあるところから借りてきて鉢にに入れて飼っておいたのですが、この動物は一月近く何と餌を与えないでも平気でジットして居るのには驚きました。この計り知れないほどの執念深い底力のようなものと、か細いアメンボウとの対照です。」（自選画集）文化会館時代の1958年度に購入。2009年に浅井千晴が修復処置を行った。所々に厚塗りでマチエールの強い箇所が見られる。



8. 洋蘭

Orchid

1946年

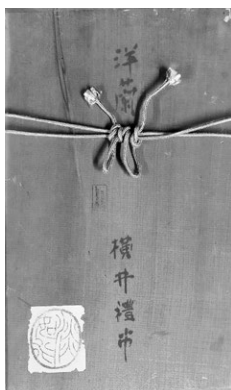
油彩、板 額装

33.2×19.3

M2651

Rei

4号板。戦後すぐの作品である。日本全体が戦後の立て直しに必死だった時期に、まずは身の回りの素朴な命を描くことで生活と制作を再建していく、そんな横井の心境が感じられる小品。《洋蘭》というタイトルは1940年の「横井禮市氏洋画展」と1948年の「横井禮市画伯近作展」の両方に見られるが、本作がどちらかに該当するのかは不明ながら『画集』に従い1946年とする。茎の部分を先に緑色で描き、あとから地を青で塗っている。板の裏には鳥本画材の印が見える。また板裏に木村が好んで用いた「淡如水」のシールがある。



9. 山つつぢ

Torch Azalea

1947年以前

油彩、画布 額装

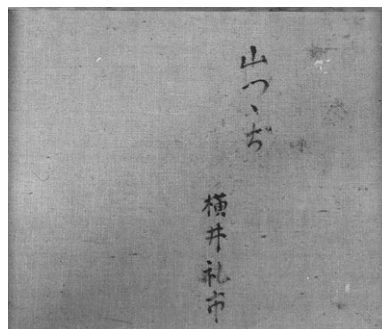
37.5×45.3

M2645

R. Yokoi

1974 米寿記念横井礼以自選展（大阪フォルム画廊、東京／名古屋）

8号。赤と緑の補色関係を中心に画面を構成している。左側手前が丘、右側奥が遠方の平原だとすると大分遠近感のある風景だが、高い抽象度で描かれており判別しがたい。カンヴァスは鳥本画材のものを使用している。



10. 水にうつる大山

Mt. Daisen Reflected on the Water

1947年以前

油彩、板 額装

23.8×33.0

R. Yokoi

M2646

4号板。鳥取県にある大山を描いていることから、《かもめの飛ぶ東郷湖》と合わせて、鳥取を訪れた際に描いたものだろう。横井らしい爽快感のある青色に覆われた小品で、画面中央の大山の左側の稜線は、筆の先でつついたような筆致が連続し、面白いニュアンスを加えている。湖面に大山が映り上下対称のイメージとなり、中央で分割する地面の黄色がよく映える。



11. 城ノ崎温泉 雨後

Spas of Kinoshiki after Rain

1947年以前

油彩、板 額装

23.5×33.0

M2648

城の崎温泉

R. Yokoi

1974 米寿記念横井礼以自選展（大阪フォルム画廊、東京／名古屋）

4号板。画面中央と右側には温泉地特有の湯気を青灰色で描いている。家の輪郭などは青で手早く描かれていることから、現地制作されたものだろう。タイトルに雨後とあるように、湿度の高い雰囲気がよく出ている作品。



12. 山陰山村

Mountain Forest of Sanin District

1947年以前

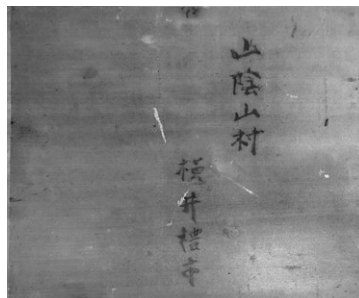
油彩、板 額装

21.1×27.0

Rei. Y

M2649

3号板。画面全体に色数が多く使われ、右上には虹も描かれるなど要素が盛り沢山の作品。山陰地方を描いたということでは、大山や東郷湖（池）などと同じ旅先でのものか。



13. 龍騰

Gentians

1947年以前

油彩、板 額装

17.3×12.4

M2650

Rei.

龍騰（リンドウ）

0号以下の板。「りんどう」と読む。入手経路が不明だが、小品ゆえに作家から直接購入したことも考えられる。横井自身が作成したものか不明だが、額に趣がある。「淡如水」シールあり。



14. 綿羊

Sheep

1947年以前

油彩、板 額装

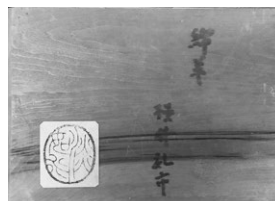
15.6×22.9

M2652

Rei.

1974 米寿記念横井礼以自選展（大阪フォルム画廊、東京／名古屋）

1号板。タイトルを見てようやく主題に気付くほど、画面は抽象化されている。板の裏に「淡如水」シール。



15. かもめの飛ぶ東郷湖

Togo Lake with Seagulls Flying

1947年以前

油彩、板 額装

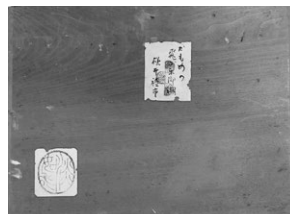
23.4×33.0

M2657

R. Yokoi

1974 米寿記念横井礼以自選展（大阪フォルム画廊、東京／名古屋）

4号板。東郷湖（池）は鳥取県東伯郡湯梨浜町にある湖。全体的に素早いタッチで描かれており、現地で制作したものであろう。チューブから出したまま他の色と混ざり切っていない青色が際立っている。板の裏に「淡如水」シール。



16. 菊

Chrysanthemum

1948年以前

水彩、紙 額装

32.4×41.6

禮市 ㊦

M2656

1948年に東海銀行津島支店で「横井禮市画伯近作展」が開かれており、その出品作に《菊》という題名があるので、これが本作に該当するのだろうか。戦後すぐの時期に描かれた、肩の力の抜けた軽妙な筆致の水彩作品。額裏のシールには「香月泰男 ほほづき」とあり、木村が所有していた時期に額を入れ替えたようだ（現在の木村定三コレクションに香月の《ほほづき》という作品はない）。「井」の字に似た独特の朱印は、筆記体のyを展開させたデザインか。



17. 真鶴の海岸

Seashore of Manazuru

1948年

油彩、板 額装

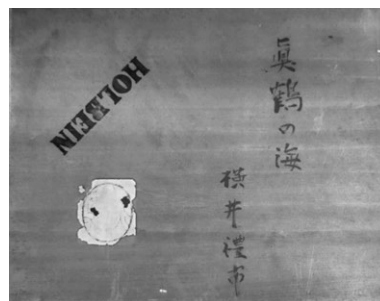
23.2×33.0

M2643

R. Yokoi

1974 米寿記念横井礼以自選展（大阪フォルム画廊、東京／名古屋）

4号板。奇をてらうことなく目の前の情景を素直に写した風景画である。乾いた筆で短い線を何本も引いていく描き方は、同年に描いた《姥子不二》と共通する。画面中央の赤い屋根が目を引き。1948年の「横井禮市画伯近作展」（東海銀行津島支店）には、《伊豆風景》《師崎の海》《高山より乗鞍を望む》《志賀高原》などの作品を出しており、頻繁に各地へスケッチ旅行に行っていた時期のようだ。前年に二紀会を立ち上げたばかりでもあり、期すところがあったのだろう。支持体は持ち運びに適した4号の板であり、現地で描いたと推測される。ここにも4号板を好んだ熊谷守一からの影響が感じられる。



18. 水浴

Bathing

1948年

油彩、板 額装

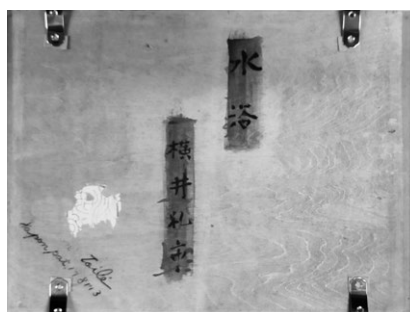
23.9×32.9

M2653

Rei. Y

1974 米寿記念横井礼以自選展（大阪フォルム画廊、東京／名古屋）

4号板。1949年の第3回二紀展に同じ題名の作品を出品しているが、4号では横井の出品作として小さい。本作を下絵として描いたサイズの大きな本画を出品したものか。あるいは前年に行われた「横井禮市画伯近作展」の出品作に《浴》という題名があるので、これが本作にあたるのかもしれない。西洋絵画では珍しくない画題だが、横井としては他に類例がない。画面の中心には水中で直立する男性（?）、そして画面の右端にはもう一人の人物がある。この何とも言えない微妙な距離感が独特。画面に布目の跡が残っており、他のカンヴァス作品と面合わせにして保管されていたものか。



19. 三つ面

Three Masks

1953年

油彩、画布 額装

72.5×60.5

KT011

R. Yokoi

1953 第7回 二紀展

1974 米寿記念横井礼以自選展（大阪フォルム画廊、東京／名古屋）

20号。1953年の第7回二紀展の出品作で、木村が入手した油彩画としては最大サイズのもの。「日本舞踊に出て来る三つ面なのですが日本民族の間に自ら生み出された三箇の面相を組み合わせたものです。この作品に於ては特に画面の構成や各面相のキャラクターやそれから色のコントラスト等に苦心しました」（自選画集）。



20. 梅日和

A Perfect Day for the Plum-blossom

1954年

油彩、画布 額装

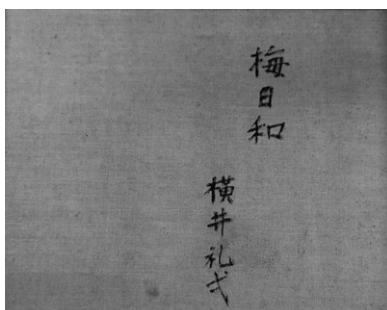
32.0×41.0

M2654

Rei. Y

1974 米寿記念横井礼以自選展（大阪フォルム画廊、東京／名古屋）

6号。1951年頃より横井の作品には静物画が増えてくる。《三つ面》の翌年に描かれた本作も、同様の関心によるものだろう。さながら梅見酒といった具合の風流な画題で、奥行きを欠いた平板な画面は装飾性を前面に出している。カンヴァス裏のサインは「礼式」とある。この年に眼疾快癒を記念して「禮市」から「礼以」に改名した。雅号が二転三転した訳だが、画家にとって目の不安がなくなることは、この上ない喜びだったに違いない。名古屋美術倶楽部の題箋と値札があることから、同倶楽部で購入したものと思われる。



21. 室生寺の塔

The Tower of Muroji Shrine

1956年

クレパス、紙 額装

48.1×31.9

M2660

Rei ☺

1974 米寿記念横井礼以自選展（大阪フォルム画廊、東京／名古屋）

手帳では1956年と記載がある。同年の「横井礼以 古稀記念展」（松坂屋）で買い求めたものか。当館が所蔵する横井のクレパス作品は本作のみ。階段と五重塔の連続する水平方向の直線と、画面右側の丸い形の連続が心地よいリズムを生んでいる。クレパスはサクラクレパス社が開発した画材で、戦後多くの画家が画材として用いた。額裏に横井のサインが貼られている。



22. 鶉

Quails

1958年

油彩、画布 額装

45.5×38.4

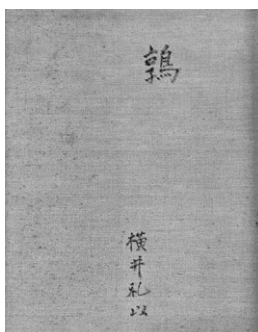
M2647

うづら

Rei. Y

1974 米寿記念横井礼以自選展（大阪フォルム画廊、東京／名古屋）

8号。これまで当館では制作年不詳としてきたが、『画集』で1958年の作品と記載されたのでそれを踏襲する。木村定三の手帳には記載がない。1950年代半ばに横井は、明瞭な輪郭線を使わずに対象を大づかみに描いていくスタイルになっていく。本作も同様の描き方をしており、描かれた5羽のウズラは暗い背景に半ば溶け込んでいる。色面構成の要素が強い時期の典型的な作品と言える。左側の鶉はとりわけ強いマチエールで描かれている。「鶉のリズムです。画面全体を鶉で鳴り響かせようと思いました。深い茶褐で纏めようとしたのですが、これは鶉が新秋の季節に応しいと思ったからです。この作品では特に鶉の本質に喰い入り、そこに一種の深いメチエールを作り出そうと心懸けました」（『自選画集』）。



23. 苔と老人

Moss and Old Man

1959年

油彩、画布 額装

116.3×91.0

JO197400038000

R. Yokoi

1959 第14回二紀展

50号カンヴァス。従来の制作年は1960年だったが、前年の二紀展出品作のため1959年に改める。《苔と老人》というタイトルだが、辛うじて画面上部に顔貌が見える程度で、あとはほとんど何が描かれているか分からないほどに抽象化が進んだ作品。全体的に象の皮膚のようにゴワゴワしたマチエールで覆われている。この作品を第14回二紀展に出品した後、第15回から第28回まで14年間二紀展への不出品を続けたという点で、節目となった作品。



愛知県美術館研究紀要 第32号 木村定三コレクション編

2026年3月発行

編集・発行 愛知芸術文化センター 愛知県美術館

〒461-8525 名古屋市東区東桜1-13-2

Tel: 052-971-5511 (代)

<https://www-art.aac.pref.aichi.jp/>



制 作 共生印刷株式会社

Bulletin of the Aichi Prefectural Museum of Art No.32

Part2 Studies of The Kimura Teizo collection

2026

Edited and Published : Aichi Prefectural Museum of Art

1-13-2 Higashisakura, Higashi-ku, Nagoya 461-8525 Japan

Tel: +81-52-971-5511

Printed : Kyosei Printing Co., Ltd.